

報道関係者各位

2018年3月6日
株式会社SFM

新製品発表

最先端のAI顔認証技術を使用した2製品を発表
「カメラ完結型 顔認証ソフト」と「GPS・地図不要の位置測位・軌跡管理ソフト」

株式会社SFM（本社：東京都品川区）は、2018年3月6日から9日に開催される第26回セキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 2018」（主催：日本経済新聞社）にて、顔認証プロセスをIPカメラ内だけで完結するソフト「AliveCam Face Matcher」（アライブカム フェースマッチャー）、およびGPS、地図不要の「位置測位・軌跡管理ソフト」を公開いたします。

記

新製品

1. カメラ完結型 顔認証ソフト

「Alive Cam Face Matcher」（アライブカム フェースマッチャー）

市販のIPカメラのSoC(CPU)環境に、当社が独自開発した顔認証ソフト「AliveCam Face Matcher」を組み込むことにより、AI型3D顔認証に必要となる一連のプロセス（検知⇒3D識別ID生成⇒認証）すべてをIPカメラ内にて完結します。

当ソフトの最大の特徴は、顔認証に必要なハードウェア構成を極限までシンプルにしたことであり、外付けのハードウェアや特別なカメラは必要ありません。しかも、デジタル化された情報は、複数のIPカメラ間で共有することも可能であり、人混みにおける容疑者の発見、追跡などに有効な製品となっています。

高度な画像処理・解析技術と当社独自の顔認証エンジンを使用しているため、顔認証に必要なデータ処理を速く、軽く行うことが可能であり、省電力型でカメラの24時間連続使用が可能な極めて実用的な製品となっています。また、従来のようにIPカメラ1台につきPC（サーバー）1台を接続する必要がないことから、イベント会場などのようにサーバールールの確保が困難な場所や大規模監視にも対応可能です。今後、数百台規模のIPカメラが相互に連携して広域監視する「集合知」型監視システムも実現可能です。

（2018年4月発売予定）

2. GPS・地図不要

「位置測位・軌跡管理ソフト」

複数の IP カメラと PC だけのシンプルな構成で、ユーザーが指定するゾーン内にいる登録者の位置を移動軌跡と共にモニターに表示（時系列表示も可能）するソフトです。カメラ自体が取り付け位置を認識しますので、あらかじめ見取り図を用意する必要はありません。また、環境に応じた柔軟な設定にも対応可能です。

GPS やセンサーを用いることが難しい状況においても、PoE 環境があれば動線・軌跡管理や正確な位置測位を行うことが可能であり、デュアルカメラの利用により一層の精度向上、効率化も追及できます。

事前登録された人物のみでなく、往来する複数の人物を自動登録する機能を有し、多様な利用シーンに対応可能です。人の動きを可視化、記録することで商業施設や工場などにおけるスマートマーケティングや業務効率向上に役立つツールとしての利用を見込んでいます。また、今後は AI 学習により「モノ」の種別ごとの在庫管理など IoT 分野での応用も可能となります。

(2018 年 4 月発売予定)

以上

###

報道関係お問い合わせ先：

コーポレート・アフェアーズ室

電話： 03-4540-1616

株式会社 S F M

2015 年 12 月設立のテクノロジー会社。AI を利用した本人確認企業として最先端の画像認識・解析技術、ディープラーニング技術およびサイバーセキュリティ技術を利用したソフトウェアおよびシステムの開発・販売・保守管理を行う。

顔認証技術評価において世界で最も権威のある National Institute of Standards and Technology（米国立標準技術研究所。略称 NIST）が 2017 年 2 月に開始した顔認証ベンダーテスト「FRVT Ongoing」の最新レポート（2018 年 2 月 15 日発行）において、参加企業中、Template Creation Time の最小値を記録。顔認証速度で世界トップクラス。